

1 現行計画における数値目標・取組指標

数値目標	課題・評価
ごみ処理量：47万トン (H21年度比11万トン減)	人口や経済状況に左右されるため、施策効果の評価が難しい。
リサイクル率：38% (H21年度比10ポイント向上)	民間のリサイクルルートを全て把握できないため、施策効果の評価が難しい。 資源物別のリサイクルの動向が把握できない。
取組指標	課題・評価
3 R 率	リサイクル率と重複しており、2 R に特化した指標を設定する方が望ましい。
3 R 実践度	本指標により、関心度と実践度のかい離が判明するなど、指標として有効。
有害廃棄物分別の実践度	現在の指標では回収量のみを把握しているため、不燃ごみ中の有害廃棄物量との整理が必要。
家庭ごみの容積	現在は容量別の販売割合を指標としているが、容積を把握するためには販売数による把握などの検討が必要。
埋立処分量	埋立場の延命化は重要な課題であるため、今後も指標として把握が必要。
温室効果ガス排出量	現在は廃棄物発電による削減量を把握しているが、ごみ処理に係るCO2排出量などの把握が必要。

- 現在の数値目標・取組指標には経済的な視点からの評価がない。
- 古紙・プラスチックごみ・食品廃棄物に関する数値目標・指標が必要。

(参考) 他の政令市における数値目標・取組指標

数値目標・取組指標	導入都市	利点
市民1人1日あたりごみ処理量	札幌市, 仙台市他10市	人口動態の影響を受けずにごみ減量施策の効果が測定できる。
焼却処分量	名古屋市, 京都市他6市	清掃工場の整備計画との連動が可能。
食品ロス排出量	札幌市, 相模原市, 京都市, 大阪市	食品ロス削減推進法に対応している。
レジ袋排出量	京都市	プラスチック資源循環戦略に対応している。
容器包装プラスチック排出量(資源化率)	札幌市, 京都市, 大阪市	
古紙排出量	札幌市, 京都市	古紙の減量効果を測定できる。
乾電池回収率	京都市	有害廃棄物の回収施策の効果を測定できる。
蛍光管回収率		経済的視点を把握する指標。
(資源生産性)		※基礎数値の公表が5年毎の全国値のため、参考指標扱い。

2 第5次基本計画における考え方

(1) 数値目標 (案)

数値目標 (案)	設定の考え方
ごみ処理量	ごみ処理量総量の削減は循環型社会の実現に向けて不可欠であるため、引き続き、数値目標とする。
市民1人1日あたりごみ処理量	家庭ごみ処理量は人口動態に左右されるため、減量施策の効果の測定を目的に市民1人1日あたりごみ処理量を数値目標とする。
1事業所1日あたりごみ処理量	事業系ごみ処理量は経済状況や事業所数に左右されるため、減量施策の効果の測定を目的に1事業所1日あたりごみ処理量を数値目標とする。

○リサイクル率については、民間のリサイクルルートを全て把握できないため、数値目標でなく、取組指標とする。

(2) 取組指標 (案)

取組指標については、資料2で提示した基本方針(案)に対応したものと並び排出量が多く重点的な対策が必要な古紙、プラスチックごみ、食品廃棄物に対応したものを設定する。

【取組指標の例】

基本方針・品目	取組指標 (案)
基本方針①	・市民の実践度 ・バイオマスプラスチックの導入率 ・大規模商業施設、駅、空港等における資源化率
基本方針②	・資源生産性 ・地域集団回収量・実施団体数 ・ICT・AIを活用した環境関連事業数
基本方針③	・温室効果ガス排出量 ・埋立処分量
基本方針④	・有害廃棄物の排出量 ・海洋ごみに含まれるプラスチックごみの割合
古紙	・可燃性ごみへの再生可能な古紙の混入率 ・オンライン行政手続の導入率
プラスチックごみ	・プラスチックごみの焼却量 ・ペットボトルの分別率
食品廃棄物	・食品廃棄物の焼却量 ・食品ロス排出量